

第3回総合部会（H22.7.5）の意見概要について

1 基本構想等について

主 な 意 見
<p>(1) キャッチフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活大県」の大という文字は、量をイメージさせる言葉。
<p>(2) 基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人が輝く元気で住みよい」は、3つの目標の一つに括っただけのイメージに取れる。 ・すっきりはしたがやや特徴のない表現になってしまった。 ・前回案の「協創と貢献」での貢献の趣旨をどこかに反映させたい。 ・何か新しい社会価値を創造していく力を持つというニュアンスが入る言葉にしたら良い。 ・基本理念の説明あるいは目標と将来像を要約する意味で、目指す姿の記述があったほうが良い。
<p>(3) 目標と将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活力」の目標・将来像の記載について、「元気」より「活力」の方がよい。活力があるということと社会の中で何か新しい価値を創っていくという感じがする。 ・計画がインパクトをもって受け取ってもらうには、将来像に何か具体的な策を書かないまでもメッセージを織り込ませることは重要。

2 政策展開の基本方向について

主 な 意 見
<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画での目標数値の達成されていない課題を重点的に取り込むことも必要。 ・「活力」の(1)「科学技術研究拠点づくり」は空間的に限定されすぎている。 ・3つの目標が重なって有機的に繋がっているのと同時にサイクルとして回っていくものと考え、3つの目標そのものが生活大県の構造の概念と捉えられる。

3 いきいき いばらき生活大県プロジェクト21について

主 な 意 見
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの名称が長いので短くしたほうが良い。 ・それぞれのプロジェクトがどこの政策から出たものかを示す必要がある。 ・プロジェクトと11の政策との関連性を示すと、横断性・連携性のある取り組みをやらなくてよいということになりかねない。むしろ、プロジェクトの定義において、具体的な推進体制を踏み込んで記載したほうが良い。 ・横断的なプロジェクトをどのように機能させていくかが重要。 ・若者の出会いや交流のプロジェクトが欠けている。 ・3つの目標が重なっている部分はどのようなものなのか、概念の構造化ができれば、それが11の政策となり、横の取り組みのプロジェクト21となるということが見えてくるのではないかと。